

上智大学 国連Weeks, October 2023

国際協力人材育成センター (SHRIC) 主催 キャリアセッション

「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」

日時 : 2023年10月20日 (金)
18:00 ~ 19:30 (受付開始 17:40)

※SHRICアドバイザーネットワーク意見交換会は17:20-17:50

会場 : 上智大学四谷キャンパス 2号館17階
国際会議場 (2-1702)

【キャリア・ワークショップご登壇者紹介資料】

特別講演（オンライン）「グローバルキャリアのすすめ」



山下 真理 氏

国連事務総長代表兼国連コソボ暫定統治機構 セルビア・ベオグラード事務所長

【略歴】

上智大学法学部国際関係法学科卒業、米フレッチャータ法律外交大学院修了後、1990年国連競争試験に合格。国連事務総長の情報収集調査室の政務官補佐として国連に加わる。その後、政務局選挙支援部、アルメニア共和国で国連側調査官、クロアチアPKOで国連次席選挙事務官、国連ネパール・ミッションで政務室長等を歴任。2010年 国際連合広報センター東京事務所長、2012年 国連本部政治局アジア太平洋州部長、2015年 国際連合平和構築支援事務局（PBSO）次長に就任。2020年より現職。

国連訓練調査研究所（UNITAR） 持続可能な繁栄局長兼広島事務所長

【略歴】

福岡県出身。米国ウエストバージニア大学心理学部卒業。米国コロンビア大学にて国際公共政策修士号取得。九州電力勤務を経て、国際連合での勤務は20年に及ぶ。その間、国連開発計画（UNDP） ニューヨーク本部、ベトナム事務所、サモア太平洋地域事務所、インドネシア事務所にて活動。2014年より国連訓練調査研究所（UNITAR）広島事務所長。2018年6月より現職。広島と平和、社会的起業、インクルーシブな社会、貿易・金融、デジタルスキル、不正防止を活動の柱として、アフリカ、中東、アジア、小島嶼国、中南米、ウクライナを支援。



隈元 美穂子 氏

国連開発計画（UNDP）前駐日代表、 京都大学大学院特任教授

ブースNo. ①



【略歴】

外務省に入省後、フランス、ザイール（現コンゴ民主共和国）、海洋法本部、国連代表部などで勤務。その後UNDP本部出向を経て2005年に外務省を退職し、UNDPバンコク地域本部スマトラ沖津波被害復興支援上級顧問、国連東チモール派遣団人道支援調整官、UNDPコンゴ事務所副代表、UNDPチャド事務所長に就任。2014年～2023年3月までUNDP駐日代表を務めた。京都大学大学院特任教授。

近藤 哲生 氏

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

このメッセージを読んだあなたならもうお分かりだと思いますが、この先の未来、2030年のSDGs目標年、そしてその先数十年で国際社会の皆で協力して乗り越えなければならない課題が多すぎます。どうか、何かひとつでも自分の担当だと思って深く学んでみて下さい。そして何をすれば良いか一緒に考えましょう。

国連開発計画（UNDP）駐日事務所

ブースNo. ①



【団体概要】

UNDPは貧困や格差、気候変動といった不公正に終止符を打つために闘う国連の主要機関です。170か国において、人間と地球のために総合的かつ恒久的な解決策を構築すべく、様々な専門家や連携機関からなる幅広いネットワークを通じ支援を行っています。現在、貧困の根絶、国家の仕組みの整備、災害や紛争などへの危機対応強化、環境保全、クリーンエネルギーの普及、ジェンダー平等の実現を重点分野として活動しています。

ハジアリッチ秀子
駐日代表

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

今後国際協力の分野で活躍を目指す若い方々には、現場の中で、地元の人が直面している問題の中に飛び込み、自分には何をできるのかを常に考えながら仕事をするのが良いスタートだと思います。日本人は概して思いやりがあり、現地の語学も進んで学び、地元の人と同じ目線で意思疎通しようと努力しますから、地元の人にもたいへん好かれます。大学ではフィールドにいるような気持ちで課題意識を持ちながら学んでみてください。

GR Japanシニアコンサルタント（公共政策）

元ILO事務局長補アジア太平洋地域総局長、
元UNIDO事務局事務次長、元UNICEF専門職員

ブースNo. ②



浦元 義照 氏

【略歴】

国際協力に40年間にわたり従事。1978年より国際連合児童基金（UNICEF）に勤務。日本兼韓国の代表を含め開発現場に25年。2007年国際連合工業開発機関（UNIDO）事務局事務次長、2012年から国際労働機関（ILO）アジア太平洋地域総局長を2年半務めた。2015年上智大学特任教授に就任。2023年2月より現職。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

SDGsは地球規模課題であり人類の夢です。夢は実現しなければただの夢です。夢を実現するにはリスクを恐れずに、現場を体験し、共感する能力を学び地球規模課題に挑戦する精神と情熱が必要です。挑戦の数ほど情熱は湧き続け、高い志を抱く人には多くのキャリアパスがあります。今すぐ国際協力でのキャリアに挑戦してみませんか！

【団体概要】国際連合児童基金（UNICEF）

UNICEFは、1946年に、第二次世界大戦で被災した子どもたちに対し、緊急支援を行うために設立された国際機関です。以来UNICEFは、すべての子どもたちの権利が守られる世界を実現するために、世界190以上の国と地域で、保健、栄養、水・衛生、教育、保護、緊急支援、アドボカシー（政策提言）などの活動を実施しています。こうした活動をする上でUNICEFは、1989年の国連総会において採択された「子どもの権利条約」を指針として掲げています。

【団体概要】国際連合工業開発機関（UNIDO）

UNIDOは、国連の専門機関のひとつで、開発途上国や市場経済移行国において包摂的で持続可能な産業開発を促進し、これらの国々の持続的な経済の発展を支援する機関です。包摂的な産業開発とは、すべての人々に公平に恩恵をもたらして貧困を減らす産業開発を意味し、また、持続的な産業開発とは、経済発展と環境保護の両立を実現する産業開発を意味します。1966年に国連の一部局として発足、1985年に第16番目の国連専門機関として独立し、現在の加盟国は170カ国です。オーストリアのウィーンに本部を置き、世界49カ国に地域事務所、3都市に連絡事務所、8カ国9都市に投資・技術移転促進事務所を設置しています。

【団体概要】国際労働機関（ILO）

ILOは、「世界の永続する平和は、社会正義を基礎としてのみ確立することができる」という憲章原則の上に打ち建てられています。1日8時間労働、母性保護、児童労働に関する法律、さらに職場の安全や平和的な労使関係を推進する一連の政策といった産業社会の画期的な成果を生み出してきました。ILOは、幅広い労働の問題に全力で取り組む国際機関です。「いずれかの国が人道的な労働条件を採用しないことは、自国における労働条件の改善を希望する他の国の障害となる」（ILO憲章）

元国際連合教育科学文化機関（UNESCO）職員、
元独立行政法人日本学術振興会（JSPS）バンコク研究連絡センター長

ブースNo. ③

【略歴】



山下 邦明 氏

特定非営利活動法人日本ユネスコ協会連盟事務局に入局後、1994年国際連合教育科学文化機関（UNESCO, パリ）に奉職、人文社会科学局青少年ポーツ部、対外関係協力局ユネスコ国内委員会部で勤務。2003年国立大学法人九州大学言語文化研究院教授に就任、同研究院長、総長特別補佐などを歴任し、2012年3月定年退職。同年7月より2020年6月まで独立行政法人日本学術振興会（JSPS）バンコク研究連絡センター長を勤める。2021年4月上智大学国際協力人材育成センター客員所員およびアドバイザー・ネットワークのメンバーに就任、現在に至る。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国際協力での仕事を目指す人たちには、4つの「ワーク」を忘れないでいてもらいたいと思います。「フットワーク（思い立ったらすぐに行動に移す身軽さ）」、「ネットワーク（幅広い人間関係を大切にする）」、「フィールドワーク（国際協力は、オフィスではなく現場（フィールド）にある）」最後に「ライフワーク（やる以上は、一生継続けるといふ心構え）」。そして「たけのこ族」になってほしい。「た」（もう一度会いたくなりような楽しい人）、「け」（相手の立場を配慮できる謙虚な人）、「の」（思いつめないで、伸び伸びできる人）、「こ」（志と心を持った人）、それに加えて、もうひとつの「こ」（外国語をマスターする）。

【団体概要】国連教育科学文化機関（UNESCO）

UNESCO憲章は、「戦争は人の心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」で始まります。他の民族や文化への無知と偏見によって起こった第二次世界大戦の反省を踏まえて設立されたのがUNESCOで、教育、科学、文化、コミュニケーションの諸活動を通して世界平和への貢献を目指す国連の専門機関で、パリ（フランス）に本部事務局があります。

外務省 国際機関人事センター

ブースNo. ④



羽鳥 良人 課長補佐

【センター概要】

外務省国際機関人事センターでは、国連・国際機関での採用・昇進を目指している日本人の皆様へ、若手人材が国際機関で勤務する機会を提供するJPO派遣制度を柱として各種支援業務を行っています。

国際機関での働き方やその魅力をお伝えし、国際機関職員の生の声をお届けする各種オンラインセミナー、国際機関の求人情報やセミナーの実施を案内する各種SNSなどを運用していますので、ご利用下さい。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国際協力分野に限らず、何かを実現するためには一人の力では限界があります。皆さんが主役であるとき必ず助っ人がいるように、誰かが主役のとき皆さんは助っ人です。この関係性を多く作れるほど、きっと、携わりたい仕事に近づけると思います。ご自身の専門性を深めるとともに、それを提供できる人脈や活用の幅という視点を学生のうちにぜひ存分に広げてください。

上智大学国際協力人材育成センター

ブースNo. ⑤



植木 安弘 所長

(大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、
元国連事務局広報官)

【センター概要】

上智大学国際協力人材育成センターは、本学が教育精神とする「他者のために、他者ととともに (For Others, With Others)」の志を抱いて国際協力の分野で活躍しうる次世代の人材育成を目的として設立されました。経験豊かな有識者の力を集結し、国際機関や国際協力の分野を志す学生をサポートしています。また、講演会やキャリアセミナー、公開講座を企画、開催し、学生のみならず一般の方々にも情報を提供しています。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国際キャリアを目指す上で一番大事なのが、自分の生き方を決めることです。それは決して簡単なことではありませんが、自分が情熱を感じることを、やってみたいことを見つけ、その中で世界の視野を広げていくことです。当センターは国際公務員養成コースや人道支援講座といった公開講座やキャリアセッションを通じて国際機関へ人材を送ってきています。夢は大きく持ちましょう。